

麻疹（はしか）患者さんと接触した方へ

麻疹を発症した方からの聞き取りに基づき、麻疹を発症した方と接触された方へのお知らせです。

麻疹は非常に感染力が強く、免疫を持っていない方が接触すると今後麻疹を発症する可能性があります。

これまで親子（母子）手帳などで麻疹ワクチンを2回以上受けた記録がある、もしくは過去に麻疹に罹ったことが確実である（医師の診断を受けたもしくは検査で確認されたことがある）方はすでに免疫を持っている可能性が高く、接触しても発症する可能性はほとんどありません。しかし、それ以外の方は麻疹の免疫をお持ちでない可能性があります、今後潜伏期間を経て麻疹を発症する可能性があります。

麻疹の潜伏期間は5日からおおむね14日以内（最長21日）のため、麻疹の免疫をお持ちでない方は不要不急の外出を控えて頂くと同時に、潜伏期間中に麻疹を発症しないか健康観察を行ってください。

健康観察とは、以下の点をご自身で確認して頂くことです。

- 37.5 度以上の発熱はないか
- 咳、鼻水、咽頭痛（のどが痛い）、目の充血、眼脂（目やに）がないか
- 発疹がないか（注意：発症初期は発疹が無い場合も多いです）

もし、このような症状が現れて医療機関を受診する場合には、必ず事前に医療機関に「麻疹発症者との接触歴があり、麻疹かもしれない」ことを連絡の上、医療機関の指示に従い受診して頂きますようお願い致します。受診の際には公共交通機関の利用はお控え下さい。

麻疹を発症したにも関わらず放置すると、周囲の方々に感染を広げてしまうことになります。流行が拡大すると、特に抵抗力の弱い乳幼児や持病をお持ちの方は重症化しやすいです。

麻疹拡大防止について、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

沖縄県南部保健所 健康推進班

電話：098-889-6591